

多様で健全な森林づくりへの取組 ～「見える化」プロジェクト～

1. ねらい

生物多様性の保全など森林の持つ公益的機能の一層の発揮に向け、針広混交林等の多様な森林づくりを進めるため、「見える化」プロジェクトを進めています。

2. 概要

国有林では、育成複層林化等の取組を先導的に進めるなど、多様な森林づくりを推進しています。

多様な森林づくりにおいては、自然条件や社会的条件を踏まえた育成単層林・育成複層林の適切な配置の検討や、天然力を活用した育成複層林に誘導するための技術の検証等を進めていく必要があります。

このため、岐阜森林管理署管内の岐阜県下呂市内の落合国有林に「見える化」区域(1,085ha)を設定し、検証を進めています。

3. 成果

「見える化」区域の一つ、落合国有林134こ林小班(小班面積4.91ha、皆伐跡地)では、天然更新による稚樹の発生が見られたことから、針広混交林への誘導や、天然更新による造林作業の省力化を図るため、天然更新状況調査を実施しました。その結果、小班内の一部区域において天然更新の完了基準の条件を満たしていることが分かり、当該地での造林作業の大幅な省力化(造林面積を32%低減)に資する結果となりました。



4. 問い合わせ先

計 画 課
岐阜森林管理署

電話026-236-2602
電話0576-62-3121